

都内私立中学高等学校
校 長
教務担当教諭 殿
関係教職員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
教務運営研究会委員長 井上 実
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

教務運営研究会 「令和6年度 宿泊研修会」のご案内 - 教務の仕事の再発見と新発見 -

初夏の候 教務関係の先生方におかれましては、授業時間確保や行事の変更等でお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

この度、5年ぶりの宿泊研修会を企画・準備いたしましたのでここにご案内申し上げます。

2020年のコロナ感染症拡大に伴い、各校での教育活動もさまざまな制限や変更を余儀なくされました。昨年5月にコロナ感染症が5類になり、特別な対応はほぼなくなったものの、コロナ禍で変化したことに対応する「アフターコロナ」の時期を過ごしています。このように特別な状況に加え、学習指導要領改訂に伴う新教育課程の編成、大学入試改革への対応、ICT活用の推進など、教育の大きな変化への対応も求められ、教務部の先生方は膨大な業務に追われたことと存じます。

このような状況を受け、今回は「教務の仕事の再発見と新発見」というテーマで二つの視点を取り入れた研修会を企画しました。

初日は東京大学 大学総合教育研究センターの栗田佳代子先生を講師にお招きし、「ティーチング・ポートフォリオ (TP)」のワークショップを行います。実際にTP作成の振り返りのプロセスをTPチャートというワークシートに取り組んで体験していただきます。直近の教育活動を振り返りながら、建学の精神に基づいたそれぞれの先生方の教育活動の理念や目的の整理につなげていただければと考えています。

2日目には、おにざわ法律事務所の鬼澤秀昌先生より合理的配慮について法律的な観点からご講演をいただきます。4月から私立学校にも合理的配慮が義務づけられましたが、対応も手探りであるという学校が多いのではないかと推察します。合理的配慮を進めていく上で留意すべき点など、事例をもとにお話していただく予定です。学習活動の仕組みに携わる教務部の先生方に少しでも参考になれば幸いです。

この2つのセミナー以外にも、分科会を通して教務的課題について情報交換の時間を設けます。

夏期講習その他ご多忙のことと存じますが、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和6年8月1日(木)～3日(土)
開会式 13:30～(受付 13:00より) (現地集合・現地解散)

2. 会 場 かずさアカデミアホール・オークラアカデミアパークホテル
〒292-0818
千葉県木更津市かずさ鎌足 2-3-9
TEL 0438-52-0111
<http://www.kap.co.jp/>



(アクセス)

◎高速バス「アクシー号(東京-鴨川線)」利用で

バスターミナル東京八重洲より約65分(かずさアーク直通)

◎JR内房線 木更津駅よりタクシーで約15分または路線バスで約25分



3. 参加対象
教務運営にかかわる方 他

4. 日 程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
8月1日 (木)					受付	開 会 式	休 憩	ワークショップ (栗田先生)		休 憩	分 科 会	チ ェ ィ ン ク	夕 食	交 換 会
8月2日 (金)	朝 食	分 科 会		昼 食	講 演 会 (鬼澤先生)		休 憩	分 科 会		休 憩	夕 食	交 換 会		
8月3日 (土)	朝 食	分 科 会	閉 会 式											

5. 研修内容

講座① ワークショップ <ティーチング・ポートフォリオ (TP) の講演および実践>
東京大学 大学総合教育研究センター 副センター長 栗田 佳代子 先生

教育活動の振り返りとして注目されている「ティーチング・ポートフォリオ」についての講演および実践を行います。

ポートフォリオ作成の過程で参加者同士対話しながら教務の仕事をつまみかじります。教員としての仕事を再構築し、どうあるべきかの気づきを得ることが目的のワークショップです。



講座② 講演会 <合理的配慮～法律的な観点から～>
おにざわ法律事務所 弁護士 鬼澤 秀昌 先生



「改正障害者差別解消法」の施行を受け、私立学校においてもこの4月より合理的配慮が義務化されました。法律上は合理的配慮の提供が義務づけられているものの、対応するには難しい点も多々あるのが現状です。

学習活動の整備を進めるにあたり、「どのようなこと」を「どのくらい」検討すればいいのか、いくつかの事例をご紹介いただきながらお話いただきます。

分科会

- ・「高校単独校」「中高併設校」の学校種別分科会です。自校の学校種別に関わらずご希望の分科会をお選びいただけます。
- ・各分科会は1グループ10～15名程度です。

6. 分科会の議題

- ・探究学習の取り組み状況
- ・教務的なデジタル・トランスフォーメーション (DX) の導入状況 (校務システムなど)
- ・新任教員の研修について
- (・参加者より募集する議題)

7. 定 員 80名 (申し込み順⇒定員になり次第締め切ります)

※参加は原則1校2名までとします。

8. 参加費 宿泊費等（2泊3日・5食）（税込）
（その他の経費は当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）
ご希望のお部屋によって参加費が異なります。以下よりお選びください。

ツイン利用
（スーペリアルームクラス以上のツイン利用）
※参加者同士2名の相部屋です



53,000 円



※写真のお部屋は一例です。

シングル利用
（スタンダードダブル等のシングル利用）



64,000 円



※写真のお部屋は一例です。

9. 申込方法 **7月5日（金）**までに東京私学教育研究所 HP よりお申し込みください。
URL <https://k.tokyoshigaku.com>



【希望分科会について】

お申込時に参加希望の分科会を「高校単独校」「中高併設校」からお選びください。

【議題について】

お申し込み時、分科会で話題にしたいことを優先順に3つ以内で自由にご入力ください。

【参加費のお振込み】

申込時にご入力いただいたアドレス宛に「参加費のお支払い」「事前アンケート」について等、必要な事項を記載したメールを entry@tokyoshigaku.com よりお送りします。

10. 事前提出物 **7月5日（金）**までに以下の①～③をメールでご提出ください。
事前提出物だけでは申し込みにはなりません。必ず先に参加申込をお願いいたします。
また、下部（提出方法）にあります※部分も必ずお読みください。

- ①令和6年度 中学校・高等学校「教育課程表」
- ②令和6年度「行事予定表」
- ③さしつかえなければ「学校組織図」または「校務分掌表」（個人名は必要ありません）
に相当するものをご送付ください。

（提出方法）

メールにて、Word・Excel・PDF等のファイルを添付し、件名に「教務運営研究会
事前提出物」、本文に「学校名」と「氏名」を入力の上、
【kyomu@tokyoshigaku.com】までお送りください。

※2名お申し込みの場合は学校毎に取り纏めて代表者がお送りください。

※印刷物をスキャンしたデータは文字が潰れている場合があるため、極力WordやExcelでのご提出をお願いします。

※スキャンしたデータをご提出の場合は、A4サイズでお送りください。それ以外のサイズでお送りいただいたデータは縮小（拡大）しての印刷となります。

11. 委員名（支部・学校名）

委員長 井上 実（⑥足立学園）	
委員 星野 稔（③目白研心）	大山 智輝（④獨協）
足立 満（⑥かえつ有明）	尾崎 威史（⑦朋優学院）
青柳 圭子（⑧成城学園）	辰見 憲（⑨中央大学杉並）
金子孝太郎（⑩本郷）	小俣 晶平（⑫吉祥女子）

12. 記録者（支部・学校名）

服部 修吾（③目白研心）	根岸 達哉（⑥足立学園）
須賀 侑（⑥かえつ有明）	秋葉 崇（⑦朋優学院）
山崎 智裕（⑦朋優学院）	高橋 香（⑧成城学園）
原 空留未（⑨中央大学杉並）	後藤 高弘（⑩本郷）

お問い合わせ先

東京私学教育研究所 教務運営研究会

担当：板澤・今村

TEL 03-3263-0544

天候の悪化や各種災害、それに伴う公共交通機関の対応などにより、実施方法（オンライン研修を含む）プログラムの変更や中止（延期）となる場合があります。その際には web 申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。